

こんにちは

日本共産党  
県議会活動報告  
週刊ニュース  
2015年9月13日 NO. 856

きらとみひこ  
**吉良富彦**です

事務所 吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街  
議会控室 823-9524 県議会内

# 電気は足りている 再稼働の必要なし

## 四国電力本部へ 4県の県議団要請



8月11日の鹿児島県の川内原発再稼働に続き伊方原発の再稼働が狙われる緊迫した状況の中、四国四県の党県委員会、県議団は香川県高松市の四国電力本部へ出向き再稼働中止を強く申し入れました。

●伊方原発3号機を審査した原子力規制委員会が5月20日に合格とし、この9月2日には、伊方町の隣市である八幡浜市長が、同市議会6月議会での再稼働反対請願可決を無視し、再稼働了承を愛媛県知事に提出。



## 政府の方針に沿った再稼働です

●「電気は十分に足りている。再稼働の必要性がない」との要請に、『政府の「原発はベースロード電源」との方針に沿ったもの』と、再稼働の責任は政府にあるという態度。一方、その政府は、再稼働の判断は「事業者」であると明言、また、原子力規制委員会は「リスクは残る」と述べ、要するに誰も責任を取らない無責任極まりない態度をとっています。

## 非難対策の責任は自治体にあります

●再稼働を判断する四国電力として、避難対策が極めて不十分である現状をどう考えるのか、世論調査では

69%が反対、リスクが残っているが再稼働許すとの住民合意はどこにあるのか？等に対しては『避難計画は、自治体がきちんとやっている』と、ここでは自治体に責任を転嫁。事業者として利用者への責任ある態度が見られない四国電力、再稼働などもってのほかです。



ます。笑顔が素敵な尾崎さん お元気で。



## アウリンにやんでも通信

●戦争法案の廃案を求める署名のお願いに地域を回りますと、戦争を体験なさった多くの皆さんとお話が弾みます。岡田市議と伺った秦南町者の尾崎さん（90歳！）宅の玄

手作りのミニわらじ  
施設に届け続けて7年  
秦南町の尾崎さん